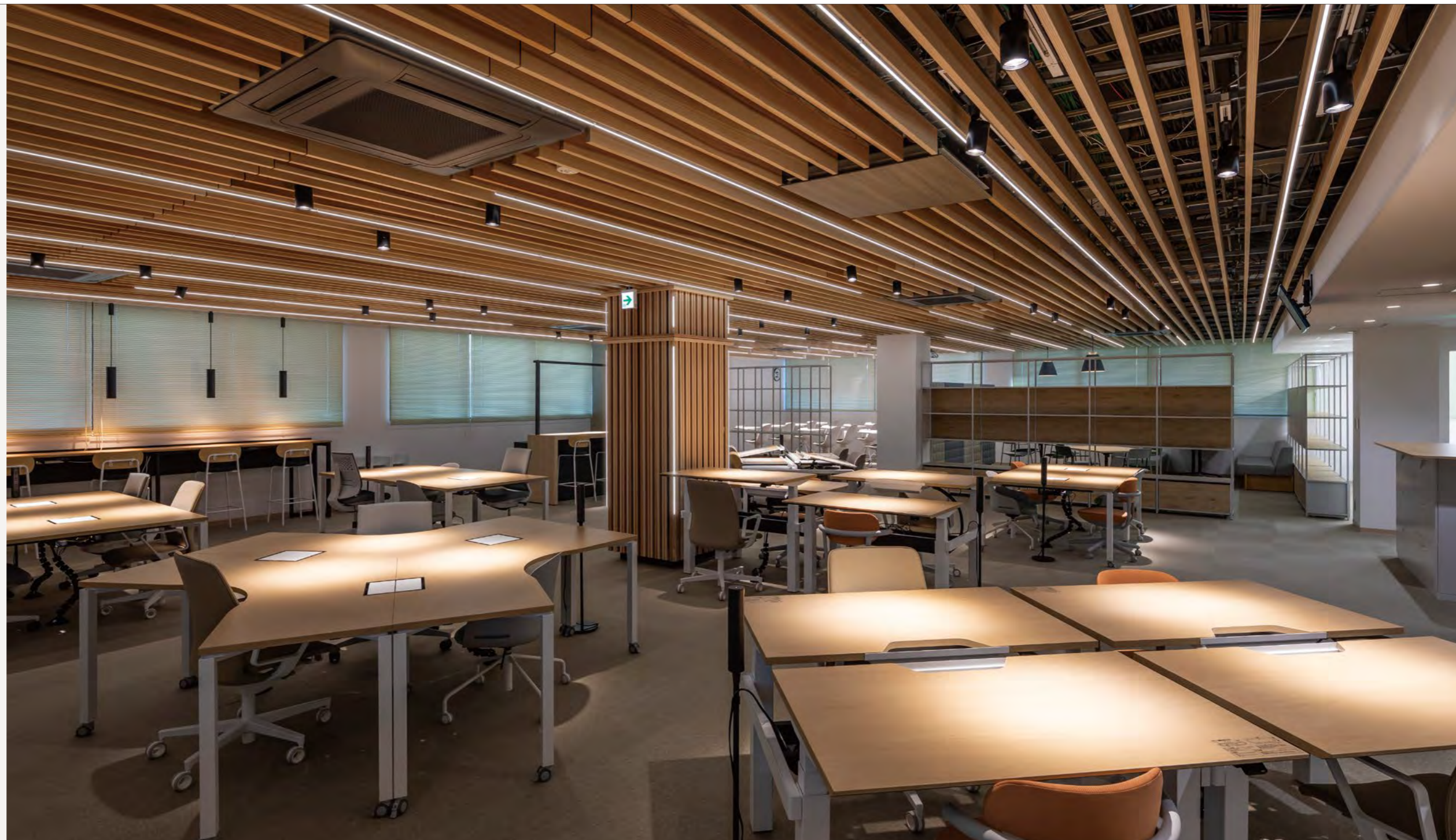


奈良県庁 本庁舎

古都・奈良の県庁本庁舎に Well-Beingオフィスが誕生

働き方改革の一環として、オフィスの環境改善が進んでいる。「一般的に官公庁は、働き方が堅いイメージを持たれがちであるが、限られた時間に効率良く仕事をするには公務員にも快適な環境が必要。そう考えてWell-Beingを核としたオフィス改革を進めてきた。その中で、組織を超えたコミュニケーションや自由な発想が活かせるオフィス環境が必要と判断し、日常業務を行う執務室と、多目的利用が可能なオープンスペースのリニューアルを行った」と奈良県副知事の湯山 壮一郎氏。今回のオフィスリニューアルでは、インテリアや什器に加えてライティングも一新。ベース照明とスポット照明を使い分けることで、周囲と机上面の光環境に差をつけ、没入感や心地良さを演出する「メリハリ照明」が採用された。これは、利用シーンに応じた光環境が実現できるだけでなく、環境光の照度を抑えることで消費電力も削減できる照明手法。また、地下にあった機械室をオープンスペースに改修するにあたっては、働く人がよりリラックスしやすい空間になるように、自然をモチーフとした映像を壁面に投映。このWell-Beingオフィスには、職員からは「居心地が良いオフィスになった。」入庁を志望するインターン生からは「こんなオフィスで働きたい。」といった声が届いている。



県産材の木製ルーバーに設置したベース照明とスポットライトの組み合わせでリラックスと集中を両立させた「メリハリ照明」(ベース照明調光率5%)



■リニューアル工事
所在地／奈良県奈良市登大路町
事業主／奈良県
設計／中村建築事務所
施工／株式会社中尾組
電気工事／藤原電気工業株式会社
リニューアル竣工／2023年3月(地下1階オープンスペース)
11月(1階執務室)

インタビュー動画が
ご覧いただけます



ベース照明調光率5% (左)と調光率100%の1階執務室



プロジェクター投影時もデスク上の照度が確保できるプレゼンコーナー



パーティションで囲われた作業に集中できる個室ブース



窓のない地下に屋外のイメージを投映する「スペースプレーヤー」と「バイオシャドー」



カフェのような光環境を創り出している窓際のペンダント



周囲の照度を落としても手元はスポットライトで照度を確保



インフォーマルなミーティングにも利用できる地下オープンスペース

主な納入設備

- 建築化照明器具 C-Slim S
- LEDスポットライト
- LEDペンダント
- ワイヤレススピーカー
- スペースプレーヤー
- バイオシャドー